

# 福祉社会学会第 16 回大会プログラム

日 程	2018 年 6 月 16 日 (土) ・ 17 日 (日)	
会 場	中京大学 豊田キャンパス (愛知県豊田市貝津町床立 101)	
大会参加費	事前振込	一般 4,000 円・学生 1,000 円
	当 日	一般 6,000 円・学生 3,000 円
懇親会費	事前振込	一般 4,500 円・学生 1,000 円
	当 日	一般 6,000 円・学生 3,000 円
お弁当+お茶	事前振込	1,200 円 (17 日のみ)

## ◇第 1 日目 6 月 16 日 (土曜日)

10:30~11:30	編集委員会 (85A) 研究委員会 (85B)
11:30~12:45	理事会 (85C)
12:30	大会受付開始 (8 号館 1 階ロビー)
13:00~15:30	自由報告第 1 部会 [子ども・社会的養護] (845)
	自由報告第 2 部会 [障害者・当事者組織] (841)
	自由報告第 3 部会 [コミュニティ・地域] (842)
	テーマセッション① [計量研究をいかに政策提言につなげるか—新世代の福祉社会学] (844)
15:45~17:45	自由報告第 4 部会 [介護・看取り] (845)
	自由報告第 5 部会 [ケア・社会化] (841)
	自由報告第 6 部会 [権利・共生] (842)
18:00~20:00	懇親会 (2 号館食堂)

## ◇第 2 日目 6 月 17 日 (日曜日)

9:00	大会受付開始 (8 号館 1 階ロビー)
9:30~12:00	自由報告第 7 部会 [高齢者・介護] (845)
	自由報告第 8 部会 [社会福祉政策] (841)
	テーマセッション② [拡大テーマセッション「福祉専門職と社会学」] (842)
12:15~13:15	総会・昼食 (411)
13:30~16:30	大会シンポジウム [開催校・研究委員会共催] [「市民」の境界と福祉～「非 - 市民」と「部分的市民」から考える～] (411)

第1日目 6月16日(土)

10:30-11:30 編集委員会 (85A) 研究委員会 (85B)

11:30-12:45 理事会 (85C)

12:30 受付開始 (8号館1階ロビー)

13:00-15:30 自由報告/テーマセッション

**[第1部会] 子ども・社会的養護 (845) 司会：藤間公太 (国立社会保障・人口問題研究所)**

1. 「子どもの貧困」に対する教育学部学生・教員の責任意識 杉井潤子 (京都教育大学) 8  
伊藤悦子 (京都教育大学)
2. 発達が気になる子の保護者支援の在り方——母親のライフストーリーをもとに—— 佐々木沙和子 (帝京大学) 10
3. ケアの「家庭性」と「有償性」をめぐって——社会的養護の養育者の語りから—— 安藤 藍 (首都大学東京) 12
4. 中世的人権状況におかれた日本の子供と家族——国連子供の権利委員会の児相問題審議—— 水岡不二雄 (一橋大学) 14

**[第2部会] 障害者・当事者組織 (841) 司会：岡部耕典 (早稲田大学)**

1. 1970年代障害者運動 たんぽぽ運動における母親の経験——その障害観の揺らぎに注目して—— 平島朝子 (東京大学大学院) 16
2. 障害者総合支援法における「サービスパックモデル」ごとの介護給付費・給付時間分析 中根成寿 (京都府立大学) 18
3. 東大阪市のアルコール関係機関のネットワーク——連携と統合—— 豊山宗洋 (大阪商業大学) 20
4. HIV・エイズ予防啓発活動における疫学者とゲイ NGO の協働体制の展開について 井上智史 (九州大学大学院) 22

**[第3部会] コミュニティ・地域 (842) 司会：妻鹿ふみ子 (東海大学)**

1. 社会関係資本の検討——地域社会における若者支援を通じて—— 桑原 啓 (京都大学大学院) 24
2. 名古屋市での“生活支援事業”における住民組織の活動と医療生協の運動との比較検討 橋本吉広 (NPO 法人地域と協同の研究センター) 26
3. 地域福祉活動における圏域設定の課題——地域福祉政策における地域重視の現状から—— 高野和良 (九州大学) 28
4. 支援する対象としての“LGBTコミュニティ”——トロント市 The519 のケースから—— 桜井政成 (立命館大学) 30

**[テーマセッション①] 「計量研究をいかに政策提言につなげるか  
——新世代の福祉社会学——」(844)**

**司会：上村泰裕（名古屋大学） 32**

1. 社会経済的地位と再分配への支持——ISSPのデータを用いたマルチレベル分析——  
池田 裕（京都大学大学院） **33**
2. 家族福祉と社会関係資本——SEMを用いた分析——  
北井万裕子（立命館大学大学院） **35**
3. 貧困母子世帯における生活保護制度の利用と問題  
吉武理大（慶應義塾大学大学院） **37**
4. 計量研究と政策提言の距離  
大久保将貴（東京大学） **39**

**15:45-17:45 自由報告**

**[第4部会] 介護・看取り (845) 司会：株本千鶴（相山女学園大学）**

1. 介護予防・日常生活支援総合事業における福祉ミックス——東京都A自治体の事例研究——  
金 鉉卿（お茶の水女子大学大学院） **41**
2. ホームヘルプにおける看護婦家政婦紹介所の歴史的展開  
——家庭奉仕員・ホームヘルパーとの関係から——  
佐草智久（立命館大学大学院・日本学術振興会） **43**
3. ターミナル期における多職種連携の課題の考察——職能団体への聞き取り調査から——  
角 能（東京大学） **45**  
高橋幸裕（尚美学園大学）

**[第5部会] ケア・社会化 (841) 司会：齋藤暁子（島根県立大学）**

1. 社会福祉領域における「社会化」  
——介護、医療、子育て、成年後見の社会化に焦点をあてて——  
白石敦子（日本社会事業大学大学院） **47**
2. ヤングケアラー概念の再構成——肯定的・否定的影響の理論化にむけて——  
大橋恭子（慶應義塾大学大学院） **49**
3. 高齢者ケアにおける家族と社会的文脈——ヨーロッパの国際比較データによる分析——  
西野勇人（立命館大学大学院） **51**

**[第6部会] 権利・共生 (842) 司会：冨江直子（茨城大学）**

1. 共生社会の論理と概念図式——「生活の質」およびガバナンスとの関連で——  
三重野卓（山梨大学） **53**
2. 社会福祉の範囲規定における境界のゆらぎと権利侵害——潜在的権利侵害はどこに生じるか——  
寺田貴美代（新潟医療福祉大学） **55**
3. 女性活躍推進政策下で、女性は働きやすくなったのか——半構造化面接による検討——  
榊原圭子（東洋大学） **57**

**18:00-20:00 懇親会 (2号館食堂)**

## 第2日目 6月17日(日)

9:00 受付開始(8号館1階ロビー)

9:30-12:00 自由報告

### [第7部会] 高齢者・介護 (845)

司会：天田城介(中央大学)

1. 高齢者サロンにおける「支援者」の位置支援者／被支援者間の役割移行の観点から——  
木村雅史(東北大学) 59
2. 宅老所の展開からみる地域共生社会概念の検討  
杉岡直人(北星学園大学) 61  
畠山明子(北星学園大学)
3. 老年期の中国残留孤児の生活実態と課題  
鍾 家新(明治大学) 63
4. 韓国のベビーブーム世代の住居関連移動とその規定要因  
——実態、研究動向、研究結果を中心に——  
金 相淑(お茶の水女子大学大学院) 65

### [第8部会] 社会福祉政策 (841)

司会：平野寛弥(目白大学)

1. 非営利—営利サービス供給組織のエコロジー——Middle-ground approach——  
須田木綿子(東洋大学) 67
2. Age-Period-Cohort モデルによる福祉意識の分析  
中田知生(北星学園大学) 69  
武川正吾(東京大学)
3. パネルデータによる再分配意識の規定要因分析  
——自己利益仮説とイデオロギー仮説の検証——  
伊藤理史(同志社大学) 71
4. 日本型福祉国家における再分配政策支持の規定要因  
——公共事業・高齢者福祉・稼働能力者に対する福祉の比較から——  
永吉希久子(東北大学) 73

### [テーマセッション②] 拡大テーマセッション「福祉専門職と社会学」(842)

司会：樫田美雄(神戸市看護大学) 75

1. 福祉専門職と社会学——このテーマを検討する意義あるいは、専門職の困難と社会学——  
樫田美雄(神戸市看護大学) 76
2. 親支援職における社会学的視点とジェンダー視点の必要性——NPOと大学での支援経験から——  
巽 真理子(大阪府立大学) 78
3. 政策科学と社会福祉学の方法論から「社会学を基盤とした専門職」構想を考える  
中根成寿(京都府立大学) 80
4. 社会福祉士養成課程における「実習」の効果と影響——職業意識形成・職業決定の観点から——  
中野航綺(東京大学大学院) 82

12:15-13:15 総会・昼食 (411)

### 13:30-16:30 大会シンポジウム（開催校・研究委員会共催）（411）

#### 「市民」の境界と福祉——「非 - 市民」と「部分的市民」から考える

コーディネーター：亀山俊朗（中京大学）84

司会：亀山俊朗（中京大学）・上野加代子（東京女子大学）

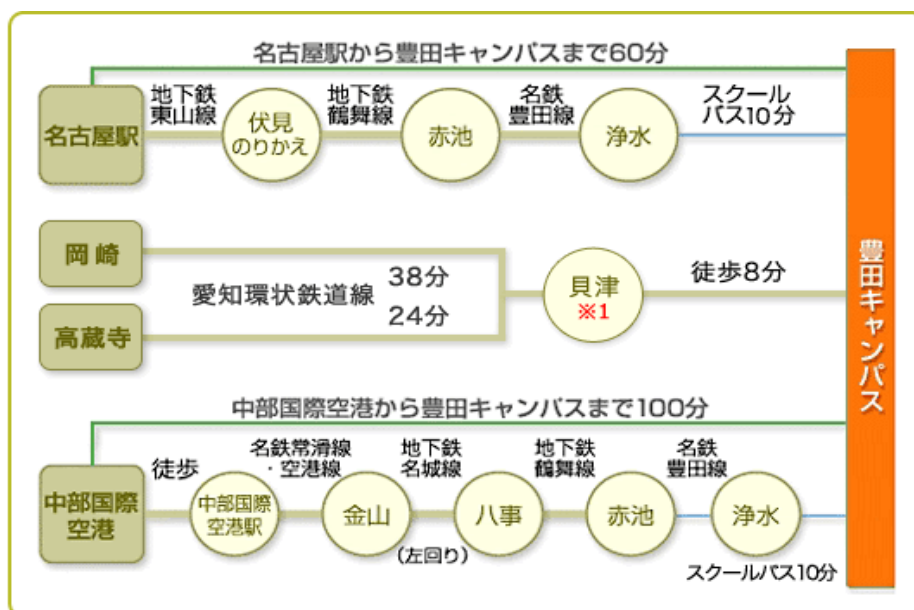
- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1. 部落問題とシティズンシップ    | 矢野 亮（日本福祉大学）86 |
| 2. 「外国人」のシティズンシップ   | 丹野清人（首都大学東京）88 |
| 3. 「障害者」と／のシティズンシップ | 岡部耕典（早稲田大学）90  |

### 大会に関するお知らせ・お願い

- ・テーマセッションならびに自由報告部会における一人あたりの持ち時間は 30 分（報告 20 分＋質疑応答 10 分）です。残り時間（30 分を目安）を全体討論にあてます。
- ・発表者の方は、当日セッション開始 10 分前までに各会場の担当者にレジユメ等の配布資料をお渡しください。
- ・発表時に使用する機材として、ノートパソコンとプロジェクターを用意します。パワーポイントを使用される方は、発表当日ファイルを USB メモリに保存してご持参のうえ、動作確認のために、セッション開始 15 分前に会場にお越しください。
- ・本年度の総会は昼食をとりながら開催しますので、お弁当の予約をお勧めします。
- ・本プログラムに変更が生じた場合は、学会公式サイト（<http://www.jws-assoc.jp/>）でお知らせしますので、適宜チェックをお願いします。

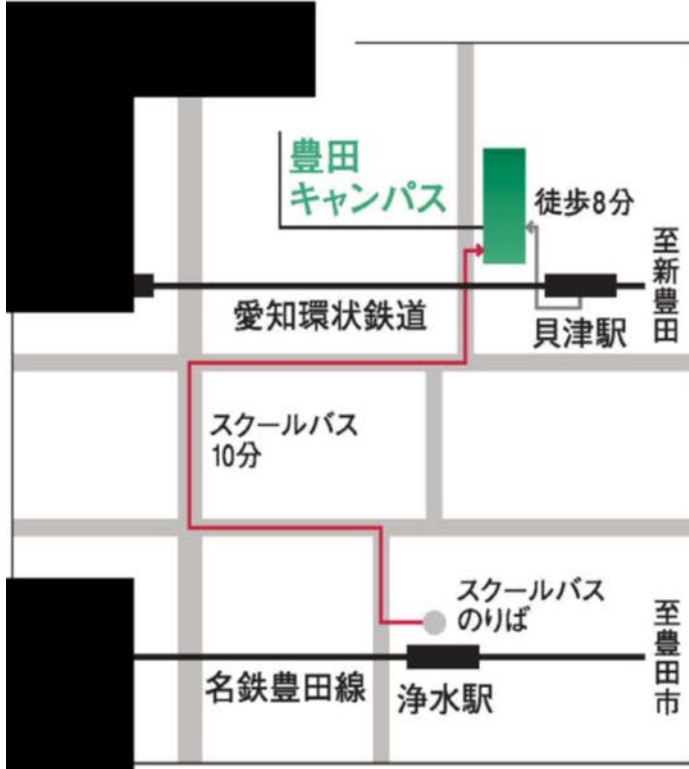
### 会場案内

■中京大学 豊田キャンパス 交通アクセス 名鉄豊田線「浄水」駅より スクールバス※（無料）にて約 10 分です。または、愛知環状鉄道「貝津」駅より徒歩 8 分。

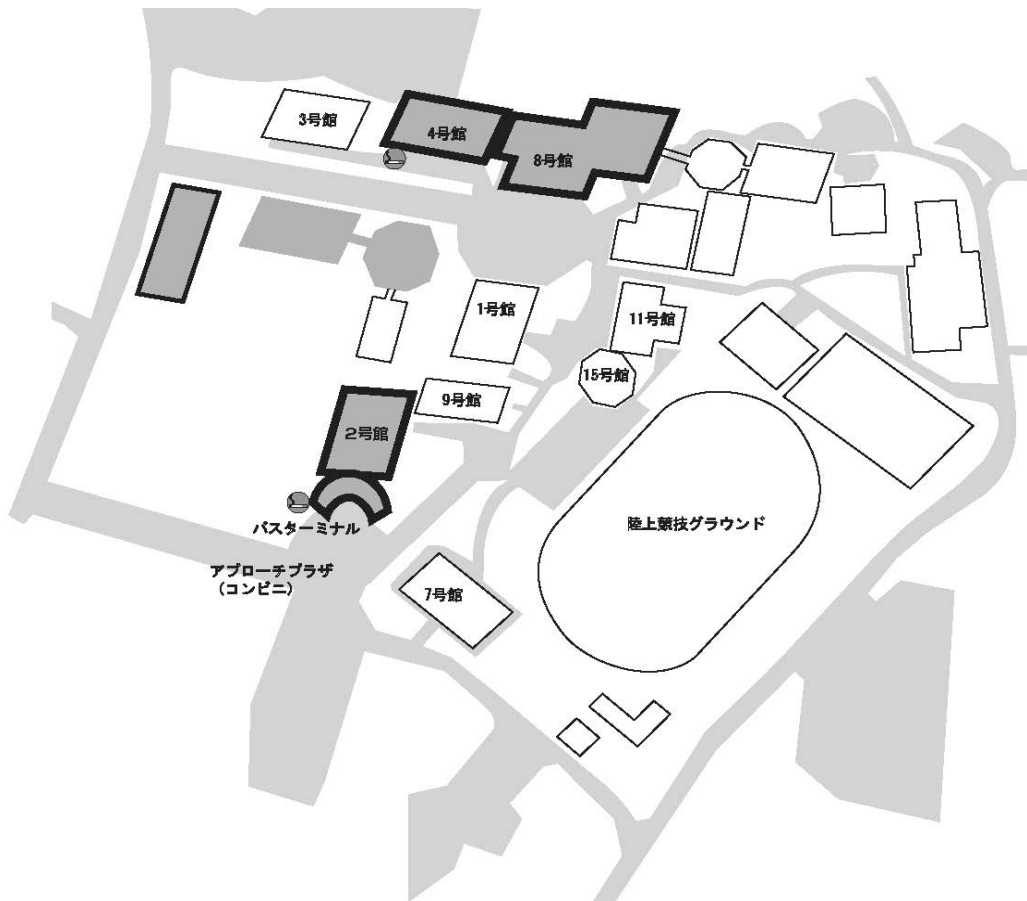


# TOYOTA CAMPUS

豊田キャンパス 〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101



愛知環状鉄道「貝津」駅より徒歩8分。  
\*写真の箇所を左折するとアプローチプラザです。



※

16日（土）の定期バスは

<https://www.chukyo-u.ac.jp/support/pdf/studentlife/bus2018.pdf> の「Cダイヤ」

懇親会終了後 大学発 19:50 20:20

17日（日）

浄水駅発 8:10 8:40 9:10 （大会は9:30-）

豊田キャンパス発 12:20（午前終了時） 15:40（シンポ前半終了時）  
17:00（大会終了時） 17:55（スケート練習場見学終了時）

〈お問い合わせ〉

社会福祉学会第16回大会実行委員会 委員長 亀山俊朗

[実行委員会事務局所在地]

〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101

中京大学現代社会学部 亀山俊朗研究室内 0565-46-1211（代表）

福祉社会学会第8期研究委員会 委員長 上野加代子

[大会事務局所在地]

〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1

東京女子大学現代教養学部 上野加代子研究室内 03-5382-6340（代表）